



2020年6月14日（日）^{せいらいこうりんごだい しゅじつ} 聖霊降臨後第2主日

^{はな ひ} 花の日・^ひ こどもの日
^{ぎんざきょうかい しゅじつかていれいはい} 銀座教会 主日家庭礼拝

礼拝招詞（れいはいしょうし）

「^{ねむ}眠りについている者、^{もの お}起きよ。死者の^{ししや なか た あ}中から立ち上がれ。

そうすれば、キリストはあなたを照らされる。」 ^{しんと てがみ しょう せつ} エフェソの信徒への手紙5章14節

^{しゅ いの} 主の祈り

^{てん} 天にまします我らの父よ、^{われ ちち}願わくは^{ねが な}み名を^{あが}崇めさせたまえ。

^{くに きた} みを来^{てん}させたまえ。み^ちこころの天になるごとく^ち地にもなさせたまえ。

^{われ にちよう かつて きょう あた} 我らの日用の糧を^{われ}今日も与^あえたまえ。

^{われ つみ おか もの われ ゆる} 我らに罪を犯す者を我らが赦^{ゆる}すごとく、我らの罪をも^{われ つみ ゆる}赦したまえ。

^{われ こころ} 我らを^{あく すく だ}試みにあわせず、悪より救い出^だしたまえ。

^{くに ちから さかえ かぎ なんじ} 国と力と栄とは限りなく^{なんじ}汝のものなればなり。

アーメン

^{さんびか にへん ほん} 讚美歌 二編26番 ^{はな} ちいさなかごに花をいれ

^{せい しょ し と げんこうろく しょう せつ} 聖書 使徒言行録9章1～9節

1 さて、サウロはなおも主の弟子たちを脅迫し、殺そうと意気込んで、大祭司のところへ行き、2 ダマスコの諸会堂あての手紙を求めた。それは、この道に従う者を見つけ出したら、男女を問わず縛り上げ、エルサレムに連行するためであった。3 ところが、サウロが旅をしてダマスコに近づいたとき、突然、天からの光が彼の周りを照らした。4 サウロは地に倒れ、「サウル、サウル、なぜ、わたしを迫害するのか」と呼びかける声を聞いた。5 「主よ、あなたはどなたですか」と言うと、答えがあった。「わたしは、あなたが迫害しているイエスである。6 起きて町に入れ。そうすれば、あなたのなすべきことが知られる。」7 同行していた人たちは、声は聞こえても、だれの姿も見えないので、ものもの

言えず立っていた。8 サウロは地面から起き上がって、目を開けたが、何も見えなかった。

人々は彼の手を引いてダマスコに連れて行った。9 サウロは三日間、目が見えず、食べも飲みもしなかった。

牧会祈祷（ぼっかいきとう）

天の父なる神さま、花の日・子どもの日の礼拝をおむかえしました。花の日礼拝で、毎年子供たちと一緒に花をお届けしていますが、今年はそれができません。けれども、いつも訪問している警察署・消防署・お一人お一人を覚（おぼ）えて祈ります。また、今年は医療従事者や新型コロナウイルスの解決のため働かれる方を覚えます。自粛（じしゅく）のためにご自宅で礼拝をおささげする方を覚えます。病の中で苦しむ方を覚えます。私達の祈りの花束があなたのもとに届いて、イエス様の愛と祝福がお一人お一人に届きますように。花も、鳥もあなたが気にかけて美しくよそおってくださいますが、イエス様は私達に必要（ひつよう）なことを知っていて下さいます。今、さびしい思いをしている方や元気がない方が笑顔になれますように。私達をあなたの栄光（えいこう）のためにお使い下さい。いつも喜び、たえず祈り、神様の恵みに感謝して歩む1週間（いっしゅうかん）でありますように。この祈りをイエス様のお名前によって祈ります。アーメン

説教・祈祷

「なすべきことが知らされる」

藤田 健太 伝道師

今日は「花の日・こどもの日」です。例年通りであれば、今頃は、子どもたちが持ってきてくれたたくさんの花束が、銀座教会の会堂を飾ることになっていたと思います。礼拝のあとは、警察署や消防署を訪問し、日ごろの感謝の気持ちを伝えていたと思います。ご高齢の方々を訪問し、みなさんの元気なお顔をお見せしたと思います。残念ながら、今年はそれができません。けれども、そんな年だからこそ、私たちは立ち止まって、「花の日」の本当の意味を考えてみたいと思います。日曜日に忙しくはたらく人たち、病気や体調の都合で教会に来ることのできない人たちのもとにお花を届けます。それはなぜでしょうか？「花の日」に「わたしたちがなすべきこと」は何でしょうか？—今年の礼拝では、そのことを、神様に向かってたずねてみたいと思います。

今日の聖書のお話の最初の部分をもう一度読みます。「さて、サウロはなおも主の弟子たちを脅迫し、殺そうと意気込んで、大祭司のところへ行き、ダマスコの諸会堂あての手紙を求めた。それは、この道に従う者を見つけ出したら、男女を問わず縛り上げ、エルサレムに連行するためであった。」

サウロは「神さまのため、精一杯はたらきたい」と願っていました。けれども、サウロが神様のためよかれと思ってやってきたことは何であったのでしょうか。—「脅^{きょうはく}迫し」、「殺そうと意気込み」、「縛り上げ」、「連行する」…口にするだけでも、おそろしい言葉です。そこにサウロの間違^{まちが}いが見えてきます。サウロは神様を信じていました。けれども、主イエス・キリストを信じていませんでした。キリストを神様と信じる人たちに罰を与えることが、自分の「なすべきこと」だと思っていました。エルサレムで、キリストを信じるステファノという人が「石打の刑」にされる姿を見ました。サウロはそれを正しいことだと思いました。ステファノの死を目の当たりにして、「なおも主の弟子たちを脅迫し、殺そうと意気込んで」、サウロはダマスコの町に旅立ちました。外国に暮らすキリスト教徒をつかまえる許可をもらうため、エルサレムの大祭司にサインの入った手紙までもらいに行きました。

神様は、間違^{まちが}った方向にすすんでゆくサウロをごらんになり、悲しまれました。ダマスコに向かう道の途中で、サウロは主イエス・キリストの声を聞きます。「サウル、サウル、なぜ、わたしを迫害するのか。」「主よ、あなたはどなたですか?」「わたしは、あなたが迫害しているイエスだ。起きて町に入れ。そうすれば、あなたのなすべきことが知らされる。」

主の声を聞いたとき、サウロは大変なショックを受けたと思います。神さまはイエス・キリストを通して、私たちに近づいてきてくださったのだとサウロは気づきました。キリストを信じる人たちを迫害することは、キリストを迫害することなのだ^と気づきました。キリストを通して神さまを信じる人たちを迫害することは、神様を迫害することなのだ^と気づきました。自分が今まで一生懸命してきたことは何だったのか^と思い、ショックを受けました。地面から起き上がったサウロは何も見えなくなっていました。お付きの人たちに手を引かれ、ダマスコの町までたどり着くことができました。しかし、そのあと三日間、目が見えないままでした。食べることも飲むこともしませんでした。三日間、まっ暗闇で何も見えない中、神様にひたすら祈って過ごしました。サウロは何を祈ったのでしょうか。「わたしのなすべきことを教えてください。」そう祈って過ごしていたと思います。

サウロはまっ暗闇の三日間を体験しました。ところで、主イエスがお墓にお入りになり、復活されるまでにかかった日数も三日間でした。「死にて葬られ、陰府に下り、三日目に死人のうちよりよみがえり。」使徒信条にそのようにあります。まっ暗闇の中、苦しみ祈った三日間、サウロのそばに主イエス・キリストがいてくださいました。三日目になり、サウロの目は開かれました。三日目にサウロの目に光がさしこみ、サウロの新しい命が始まりました。

サウルを救ったのは、ダマスコに住むアナニアという名前のキリスト教徒でした。サウロが迫害してきたキリスト教徒が、サウロを救ってくれました。サウロが迫害してきたキリストが、サウロを救ってくれました。サウロは神様に「今までごめんさない」と謝りま

した。今度こそ、本当の意味で、神さまのために生きたいと願いました。「脅迫し」、「殺し」、「縛り上げ」、「連行する」ことは、もう止めました。その代わりに、人を「愛する」ことに決めました。キリストが自分を愛してくれたように、自分も人を愛することに決めました。キリストが自分に寄り添ってくれたように、自分も人に寄り添って生きることに決めました。「なすべきこと」を神様から学びました。自分のはたらきを通してたくさんの人たちにキリストの愛を知ってもらおうことが、サウロの「なすべきこと」になりました。

私たちが、花の日にお花を届ける意味もそこにあります。キリストの愛を知ってもらおうため、私たちはお花を届けます。キリストが寄り添ってくださっていることを伝えるため、私たちも出かけてゆきます。今年はお花を直接お届けすることはできません。けれども、私たちがお花を届けに行くはずだったお一人お一人の上に、神様をご自分の愛を届けてくださいます。神さまのおはたらきを信じ、祈りを合わせて、花の日のお祝いをしましょう。

祈り 天の父なる神さま。礼拝再開から2週間がたちました。この間、私たちの歩みを守ってくださってありがとうございます。日曜日にも忙しくはたらき私たちの生活を支えてくださっている方々がいます。体調のゆえに教会に来ることのできない方々がいます。ご家庭に留まり、礼拝を守ってくださっている方々がいます。その方たちのもとに神さまが力強い愛の言葉を届けてくださいますように。神さまが寄り添ってくださいますように。「花の日・子どもの日」の礼拝をありがとうございます。銀座教会に集まる子どもたち一人ひとりの健康をお守りください。ご家庭にも学校にも、神様の祝福がありますように。

主イエス・キリストのみ名によって祈ります。 アーメン

祈 禱 (各自、自由にお祈りください)

祈禱課題 新型コロナウイルスを経験した世界のこれからの歩みのために
今なおウイルスとたたかっておられる方々のために
教会に集まることができない方々のために
礼拝堂に集まって安心して礼拝をささげられる日のために。

讃美歌 461番 主われを愛す

献 金

頌 栄 544

祝 禱

主があなたを祝福し、あなたを守られるように。

主が御顔を向けてあなたを照らし あなたに恵みを与えられるように。

主が御顔をあなたに向けて あなたに平安を賜るように。

主イエス・キリストの恵み、神の愛、聖霊の交わりが、

あなたがた一同と共にあるように。

アーメン